

川越城の七不思議めぐりコース

歩行距離 約2.7km

所要時間 約54分

施設の見学時間は含まません

「川越城の七不思議」にまつわる土地をめぐるコースです。

シーズン：春・夏
移動手段：徒歩・バス



市街地エリアで季節の散策を楽しむコース



1 養寿院
夜更けに川越城中のどこからともなく、矢叫びや蹄の音がけたましく聞こえてきました。その原因が堀川討の大戦の屏風画にあることがわかり、養寿院に、屏風が寄進され、音が聞こえてこなくなったと言われています。



6 喜多院
049-222-0859
鈴をならすと大蛇が現れるので、鈴を鳴らすことを禁じた山内禁鈴、本堂に入って耳を澄ますと潮の音が聞こえる潮音殿、深夜に頭をなで、朝見ると親の顔に見える五百羅漢をはじめ、底無しの穴、三位稲荷、鐘楼門の鷹、お化け杉などの奇談が喜多院の七不思議として伝えられています。



2 川越市立博物館
049-222-5399
博物館の玄関の前にある古井戸は昔、城が敵に攻められて危うくなったとき、井戸のふたを開けると、濃霧が立ち込め、城を隠して助かったといわれています。川越城が「別名霧隠城(きりがくれじょう)」とも呼ばれるようになった由縁です。



3 川越城本丸御殿
049-224-6015
川越城の周りは、沼が多ク城を築くに苦労しました。夢のお告げで、太田道真の娘が沼に身を投げ龍神様の生贄となって、城が完成したといわれています。



4 三芳野神社
川越城の周りは、沼が多ク城を築くに苦労しました。夢のお告げで、太田道真の娘が沼に身を投げ龍神様の生贄となって、城が完成したといわれています。



5 浮島稲荷神社
川越城の周りは、沼が多ク城を築くに苦労しました。夢のお告げで、太田道真の娘が沼に身を投げ龍神様の生贄となって、城が完成したといわれています。

6 喜多院
川越城の周りは、沼が多ク城を築くに苦労しました。夢のお告げで、太田道真の娘が沼に身を投げ龍神様の生贄となって、城が完成したといわれています。

川越駅・本川越駅
東武(武)川越01.02.03.04系統約11分6秒
札の辻バス停
約0.3km 徒歩約6分

- 1 養寿院 約1.2km 徒歩約24分
- 2 川越市立博物館 約0.1km 徒歩約2分
- 3 川越城本丸御殿 約0.1km 徒歩約2分
- 4 三芳野神社 約0.6km 徒歩約12分
- 5 浮島稲荷神社 約0.4km 徒歩約8分
- 6 喜多院

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。